



PRESS RELEASE

令和 7 年 6 月 17 日

**公開セミナー「妊婦・子どもを守る」
今、プレコンセプションケアの視点から注目の「ワクチン」を学ぼう！**

◆発表のポイント

- ・ 人類にとって、感染症との闘いは永遠の課題です。
- ・ 風疹ウイルスは、妊婦が感染することで胎児の耳や眼、心臓などに異常を引き起こします。日本政府は「2020 年までの風疹撲滅」を宣言しましたが実現しませんでした。
- ・ 過去のものと思われていた梅毒の感染が全国的に増加しており、妊婦の感染から先天梅毒のお子さんも生まれています。
- ・ 日本だけが積極的な接種勧奨を差し控えていた子宮頸がん予防のための「HPV ワクチン」ですが、ようやく勧奨が再開されました。この間、接種しなかった女性への無料キャッチアップ接種は終了しましたが、今後は、小学・中学・高校生への定期接種の啓発が必要です。
- ・ 将来の妊娠・出産、子どもを持つことを念頭に健康を管理する「プレコンセプションケア」が注目される中、産科や小児科のスタッフ、保健師などの医療スタッフはもちろん、教師や一般市民の方々に参加していただき、妊娠や出産、子どもに関連する「感染症」「ワクチン」について考えます。

人類にとって、感染症との闘いは大きな、そして永遠の課題です。岡山大学大学院保健学研究科では、注目の「感染症」そして「ワクチン」に関する公開セミナーを開催します。

将来の妊娠・出産、子どもを持つことを念頭に健康を管理する「プレコンセプションケア」が注目される中、産科や小児科のスタッフ、保健師などの医療スタッフはもちろん、教師や一般市民の方々に参加していただき、妊娠や出産、子どもに関連する「感染症」「ワクチン」について考えます。

講師として、日本のワクチン行政に深く関与されている医師の一人である川崎医科大学小児科特任教授の中野貴司先生をお招きし、世界と日本の現状をお聞きします。

岡山大学大学院保健学研究科、岡山県産婦人科医会は、風疹の流行の際に生まれた先天性風疹症候群のお子さんの母親からの手紙を頂いたことから、2013 年から「風疹」予防啓発セミナーを開催してきました。日本政府は、2020 年までに根絶を目標としていましたが、残念ながら達成されませんでした。先進国で、風疹の流行が見られるのは日本だけともされています。今回のセミナーでは、先天性風疹症候群の子どもと家族の会である「風疹をなくそうの会『hand in hand』」の方々の思いをお聞きします。

2016 年以降、全国的に梅毒感染の報告が急増しており、妊婦の感染から先天梅毒のお子さんも生まれています。特に、岡山県は人口 100 万当たりの梅毒感染者数が全国的に上位を推移しています。

日本だけが積極的な接種勧奨を差し控えていた子宮頸がん予防のための「HPV ワクチン」ですが、ようやく勧奨が再開されました。この間、接種しなかった女性への無料キャッチアップ接種は終了しましたが、今後は、小学・中学・高校生への定期接種の啓発が必要です。

今回のセミナーが、子どもを育てる全ての人々に知ってもらう機会になることを期待しています。



PRESS RELEASE

<開催概要>

1. 名 称 公開セミナー「妊婦・子どもをまもる」
産科・小児科スタッフ・保健師のためのワクチンの知識
2. 日 時 2025年7月26日（土）12:30 開場 13:00～16:30
3. 場 所 岡山大学鹿田キャンパス 臨床講義棟第2講義室
4. 対 象 者 どなたでも参加いただけます。
5. 申 込 方 法 参加事前申し込みは不要。
6. 参加費用 無料。無料駐車券あり。

<補足>

詳しい情報は、岡山大学大学院保健学研究科 中塚研究室ホームページをご参照ください。

URL: <http://www.okayama-u.ac.jp/user/mikiya/>

◆研究者からのひとこと

中塚研究室では、多くの研究者や学生がリプロダクションやジェンダーについて研究しています。気軽にご連絡ください。

<https://www.okayama-u.ac.jp/user/mikiya/>



岡山大学学術研究院保健学域 教授
岡山県産婦人科医会 理事
中塚幹也

<お問い合わせ>

岡山大学学術研究院保健学域 教授 中塚幹也
(電話番号・FAX) 086-235-6538

岡山大学大学院保健学研究科
「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム事務局
(電話番号・FAX) 086-235-6538
(メール) josan@cc.okayama-u.ac.jp

